

令和6年第2回鹿角市議会定例会 代表質問

□質問順位及び質問所要時間

3月12日（火）午前10時～

- | | | | |
|---|---------|--------|-------|
| 1 | 田村富男 議員 | 鹿真会・公明 | (60分) |
| 2 | 浅石昌敏 議員 | 誠心会 | (60分) |
| 3 | 黒澤一夫 議員 | 鹿山会 | (60分) |

□質問時間割当表

10:00		11:00	11:10	12:10	13:00	14:00
3月12日 (火)	田村富男 (60分)	休憩 10 分間	浅石昌敏 (60分)	休 憩	黒澤一夫 (60分)	

令和6年第2回鹿角市議会定例会代表質問

No.1

順位	1	会派名	鹿真会・公明	代表質問者	田村 富男	質問所要時間	60分
質問事項				質問要旨			
1		市長の政治姿勢について		① 辞職勧告決議を受けて自身の政治姿勢を改めたことはあるか。決議文で指摘している5つの事項ごとに伺う。			
2		公約の推進について		① 公約のうち、令和6年度において優先して取り組むものを5つ挙げるとすれば何か。それら5つについて、第7次総合計画の成果指標を用いながら、現在の進捗状況と令和6年度末の達成目標を伺う。			
3		財政運営について		① 一般会計当初予算の規模が3年連続で前年度を上回った理由について伺う。 ② 財政調整基金の取り崩しが10億円の大台を超えたが、新規の取り組みを始めるに当たって、既存の取り組みを十分に見直したのか。令和6年度予算案を前提とした中長期財政見通しは、健全性を担保できる内容になっているか伺う。 ③ 複数年にわたり継続する事業を新たに始めるに際し、恒久的な財源確保が必要と考える。令和6年度当初予算において「物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金」を充当した事業には、後年度も引き続き実施する事業が多いと見受けられる。それらの事業を継続するための財源はどのように確保するのか、財政調整基金の取り崩しや既存事業の廃止や経費削減など、その手法について伺う。			
4		庁舎への喫煙室の整備について		① 市長から、たばこ税の一部が、大雨災害後の花輪線の復旧費にも充てられたと伺った。貴重な財源を確保するためにも、健康に留意しながら、喫煙環境を整備していくことが有益だと考えるが、本庁舎周辺への喫煙所の整備について再考する考えはないか伺う。			
5		まちなか居住について		① 「安全安心住まいづくり事業費補助金（子育て応援中古住宅活用事業、まちなか居住促進事業）」の利用実績を伺う。			

令和6年第2回鹿角市議会定例会代表質問

No.2

順位	1	会派名	鹿真会・公明	代表質問者	田村 富男	質問所要時間	60分
質問事項				質問要旨			
6		十和田高校跡地の活用（十和田地区の統合小学校の設置）について		<p>② まちなか居住の促進力アップのため、まちなかの市有地の活用や土地の新規取得により宅地を整備して貸し付け、希望する市民が住宅を建設するという誘導策をあわせて行う考えはないか伺う。</p> <p>① 十和田高校の跡地利用について、秋田県から方針は示されているか。示されていない場合、今後の児童数の減少を踏まえ、十和田地区の統合小学校を、盛り土等の対策を講じた上で、十和田高校跡地に新築整備する考えはないか伺う。</p>			
7		大湯ストーンサークル館への飲食・物販機能の追加について		<p>① 今年度、市が策定している「特別史跡大湯環状列石保存活用計画」では、大湯ストーンサークル館への飲食・物販機能の追加をどのように位置づけて展開しようとしているのか。大湯ストーンサークル館は施設の性格上、飲食・物販機能を設けることはできないと聞いているが、本計画に盛り込むことで整備が可能になるものか伺う。</p>			
8		毛馬内盆踊りの保存伝承施設（盆踊り会館）について		<p>① 毛馬内盆踊りの保存伝承施設について、旧商家をリフォームするなどして整備を求める声が上がっているが、整備後の施設の運営について、担い手の確保が困難なことから、不安視する声も聞こえる。そこで、十和田地域づくり協議会が市民センターの附属施設として管理することを前提に整備することはできないか伺う。</p>			

令和 6 年第 2 回鹿角市議会定例会代表質問

No.1

順位	2	会派名	誠心会	代表質問者	浅石 昌敏	質問所要時間	60 分
質 問 事 項				質 問 要 旨			
1		第 7 次総合計画について (1) 第 7 次総合計画の折り返し地点の成果について		① 第 7 次総合計画は 3 年目を終えるところであるが、今年度までの成果について伺う。			
2		本市の人口の現状について (1) 市の人口について (2) 平成 30 年推計との比較について (3) 婚姻率の低下及び若年女性の 流出について		① 市の人口と人口構造の推移について伺う。 ① 国立社会保障・人口問題研究所は、昨年 12 月に「日本の地域別将来人口（令和 5 年推計）」をまとめ公表した。本市の人口について、前回（平成 30 年推計）との比較を伺う。 ① 秋田県では婚姻率が低下し、若年女性の流出が拡大しているとのことだが、本市の状況を伺う。また、婚姻率増加のための対策、若年女性の流出を食い止めるための対策について伺う。			
3		公共施設のマネジメントについて		① 人口減少社会に対応し、持続的な発展を念頭に市政運営をしていく上で、これまで以上に公共施設の適正配置が必要になってくるが、市の考えを伺う。			
4		公共交通対策について (1) 地域公共交通(路線バス)の現 状について (2) 運転手不足の現状について (3) 新たな公共交通の導入につい て		① JR 東日本では、利用の少ない線区の経営情報を開示しており、花輪線についてもその収支データが公表されている。路線バスの維持にかかる市の負担額及び路線全体の収支にかかる市の負担率について伺う。 ① 全国各地でバス事業者の運転手不足が問題となっているが、本市の状況と物流の 2024 年問題も含め、今後の見通しについて伺う。また、現状の路線を維持できるのか伺う。 ① 地域公共交通計画では、留意すべき検討事項として、新たな交通サービスの導入について触れているが、移動ニーズに応じたサービスとして、地域住民との共動による移動手段や新しい技術導入の検討状況について伺う。			

令和6年第2回鹿角市議会定例会代表質問

No.2

順位	2	会派名	誠心会	代表質問者	浅石 昌敏	質問所要時間	60分
質問事項				質問要旨			
5		鹿角市の農林業の振興について		<p>① 農林業センサスから見える農業従事者、農業産出額の推移と見通しについて伺う。</p>			
		(1) 農業の現状について		<p>① 令和3年以降の新規参入者(企業・法人・個人)の状況について伺う。また、本市は女性や若者が農業で活躍するポテンシャルを有していると考え、新規就農者のうち女性と若者のそれぞれの割合と、担い手確保の課題について伺う。</p>			
		(2) 農業の新たな担い手確保について		<p>① スマート農業は、農業人口減少による担い手不足を解決する手だてとして期待されているが、本市の導入状況を伺う。また、こうしたスマート農業の導入に対する諸課題について伺う。</p>			
		(3) スマート農業について		<p>① 「淡雪こまち」、「北限の桃」、「そばの里」などのブランド化を進めて久しいが、その戦略を伺う。また、新たなブランド農産物を検討する必要があると考えるが、見解を伺う。</p>			
		(4) ブランド農産物について		<p>① 国の水田活用の直接支払交付金と畑地化促進事業について、支払要件が厳格化され、令和9年度以降、5年間に1度も水張りが行われな水田については、交付対象としない方針となった。このことから、水張りが実施済みの水田面積と、来年度畑地化を予定している面積を伺う。</p>			
		(5) 国の水田活用の直接支払交付金と畑地化促進事業について		<p>① 本市の畑地化促進事業の申請要件には「おおむね50アール以上」とあるが、国の条件には面積の制約は無い。50アール未満の水田について、市としてどのように考えているのか伺う。</p>			
		(6) 50アール未満の畑地化促進事業について		<p>① 今年度のツキノワグマの異常発生を踏まえ、来年度において新たな対策等を考えているのか伺う。</p>			
		(7) ツキノワグマの対応について		<p>① 地域DMOである株式会社かづの物産公社の尽力により、観光客受け入れ態勢の強化と地域観光資源の磨き上げが実現され、近年本市の魅力や強みも増していると感じる。引き続き、ブランディングやプロモーションを含む観光地域マーケティングの機能確立し、効果的かつ戦略的に観光客の誘致を行う必要があると考えるが、見解を伺う。</p>			
6		鹿角市の観光振興について		<p>① 地域DMOである株式会社かづの物産公社の尽力により、観光客受け入れ態勢の強化と地域観光資源の磨き上げが実現され、近年本市の魅力や強みも増していると感じる。引き続き、ブランディングやプロモーションを含む観光地域マーケティングの機能確立し、効果的かつ戦略的に観光客の誘致を行う必要があると考えるが、見解を伺う。</p>			
		(1) DMOについて		<p>① 地域DMOである株式会社かづの物産公社の尽力により、観光客受け入れ態勢の強化と地域観光資源の磨き上げが実現され、近年本市の魅力や強みも増していると感じる。引き続き、ブランディングやプロモーションを含む観光地域マーケティングの機能確立し、効果的かつ戦略的に観光客の誘致を行う必要があると考えるが、見解を伺う。</p>			

令和6年第2回鹿角市議会定例会代表質問

No.3

順位	2	会派名	誠心会	代表質問者	浅石 昌敏	質問所要時間	60分
質問事項				質問要旨			
		(2) 八幡平エリアの観光振興と交通アクセスについて		① 八幡平魅力アップ構想の進捗と八幡平観光の課題、八幡平地域の観光を推進する人材育成について、どのように考えているのか伺う。また、不便な交通アクセスの改善について伺う。			
		(3) インバウンドの現状とその対策について		① 2023年に日本を訪れた外国人は推計2,506万人で、外国人の宿泊費などの消費額は5兆円を突破した。一方で、地方への波及は限定的と言われるが、市のインバウンドの方向性について伺う。			
		(4) 大館能代空港利用促進助成金の見直しについて		① 現状、大館能代空港利用促進助成金として5,000円の補助を受けることができるが、市民からは、空港促進と観光客誘致のため「1日3往復の無料シャトルバスの運行が出来ないのか」との要望がある。事業を実現できないか伺う。			
7		鹿角市の商工業振興について (1) 誘致企業について		① 市長就任後の誘致企業の取り組みとその成果を伺う。あわせて、本市の企業誘致戦略を伺う。			
8		鹿角キャンパス構想について (1) サテライトキャンパスについて		① 設置の時期・場所・規模はどのように想定しているのか伺う。また、連携する大学と、どのような学部を想定しているのか伺う。			
9		鹿角市の教育問題について (1) 中学校部活動の地域移行について		① 今年度、休日の中学校部活動の地域移行を検討するため、「鹿角市部活動地域移行検討委員会」を設置しているが、委員会において、整理された課題や今後の方向性について伺う。			
		(2) 地域移行の進行方法について		① 新年度において、地域移行をどのような形で進めていくのか、その内容について伺う。			
		(3) 地域移行の環境づくりについて		① 部活動の地域移行を円滑に進めていくためには、学校や保護者の理解を促進し、さらに今後も子供たちを指導したいと考えている教員について、地域移行後も指導者として活動しやすい環境づくりが重要だと考えるが、どのように取り組むのか伺う。			

令和6年第2回鹿角市議会定例会代表質問

No.1

順位	3	会派名	鹿山会	代表質問者	黒澤 一夫	質問所要時間	60分
質問事項				質問要旨			
1		鹿角市総合計画の取り組み状況について		<p>① 働く場の確保、企業誘致活動において、企業立地促進事業での企業誘致の成果は何社か伺う。また、現在交渉中の会社は何社か。さらには、産業人材育成支援事業について、何社に対し行い、内容・成果はどのようなになっているか伺う。</p> <p>② 若者の市内就職・定着や、ふるさと回帰への支援が大切であると考えている。これらを実現するための、就職支援事業、就職情報発信事業や、若者、ふるさとネットワークの強化等、十分な取り組みが行われているか伺う。</p> <p>③ 農畜産物の生産販売における「鹿角ブランド」の高まりへ向けた取り組みについて、北限の桃等果樹産地強化事業、かづの牛生産振興対策事業、淡雪こまち振興事業について、市の積極的な関わりを望むが、これら事業の取り組みとその成果を伺う。</p> <p>④ 観光業を市の重要な産業と位置づけ、市内の名所、名跡、歴史文化遺産を資源素材として「滞在型観光」を目指しているが、八幡平魅力アップ事業、十和田八幡平まなび旅創生事業、そして世界歴史遺産の活用事業はそれぞれどのような成果となっているか伺う。また、これらの有機的な結びつきによる年間の宿泊客は伸びているか、さらには、市内観光施設の受入れ体制は十分か伺う。</p>			
2		地震等自然災害に対応した機材、備品、食料等の備蓄について		<p>① 地震は突然起きる。1月1日に発生した石川県能登半島地震は人心に大変大きな悲しみを与えた。鹿角市も日頃から災害への対応を行政の中心にしっかりと位置づけ、民心の安全安心を守っていただきたいが、非常時の備品等の備蓄はどのような物品を備えているか伺う。また、テント・発電機等については地区ごとに備蓄すべきと考えるがいかがか。</p>			

令和6年第2回鹿角市議会定例会代表質問

No.2

順位	3	会派名	鹿山会	代表質問者	黒澤 一夫	質問所要時間	60分
質問事項				質問要旨			
3		「スキーと駅伝のまち鹿角」の運動の高まりについて（スポーツ文化の興隆について）		<p>① 十八駅伝で女子の部も競技をスタートしたが、昨年は連続開催が見合わせとなった。今後再開し、継続実施してまちを盛り上げてほしいと思うが、その取り組みについて、どのようになっているか伺う。</p> <p>② 東山スポーツエリアのスキー場の利用は計画的に行われ大変良いと思うが、冬期における遊具設置広場や陸上競技関連のエリアを生かし、市民の冬期間のスポーツ大会、イベント等を行って、市民が今後さらにこの公園で楽しめるよう取り組みを行うべきと考える。このことについて伺う。</p> <p>③ スポーツ大会等で市内ホテル、宿泊業者などと一体となって歓迎体制を整え、交流の拡大がより一層図られるよう期待するが、今後の取り組みについて伺う。</p> <p>④ 「スキーと駅伝のまち鹿角」のキャッチフレーズの下、各種スポーツ大会が開催され、スポーツ文化が高まるよう一層の取り組みについて強化していただきたいと考えるが、このことについて伺う。</p>			